

災害は忘れた頃にやってくる

～ 備えあれば憂いなし ～

東日本大震災(2011年3月11日)から9年が経ちました。甚大な災害がいまだに記憶に残っています。一方、宮古島地方では、62年前の1958年3月11日「石垣島北東沖地震」で震度5を観測し、死者1名、重傷1名が出ました。また、約250年前(1771年)の「明和の大津波」では、宮古島、多良間島で死者2,548名が出ています。

住民のみなさん、「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。地震、津波に対する備えは出来ていますか？「備えあれば憂いなし。」いま一度、大きな災害に直面した時、自分ならどのような行動ができるのか、考えてみましょう。

◇その家具の置き方、大丈夫？

過去の大地震の際、家具の下敷きになって亡くられる方が多くいました。家具は転倒しないよう、壁に固定しましょう！



◇食料・飲料水など、蓄えていますか？

大地震の際には、電気やガス、水道が止まることがあります。普段から飲料水や長期間保存の効く食料を蓄えておきましょう。小さいお子さんがいるご家庭では、ミルク、紙おむつ、ほ乳びんなども用意しておきましょう。

◇非常用バッグの準備、できていますか？

非常時に持ち出すべきものをあらかじめ、リュックサックに詰めておきましょう。(飲料水、救急用品、軍手、懐中電灯、衣類、毛布、携帯ラジオ、電池、など)



◇家族の安否確認方法、決めていますか？

災害時には普段使っている携帯電話がつながりにくくなり、家族同士で連絡が取れなくなるおそれがあります。災害用伝言ダイヤル(171)といったサービスを利用し、お互いの安否を確認できるようにしておきましょう。集合場所を事前に話し合っておくというのもいいですね。



◇避難場所や避難経路、確認していますか？

いざ災害が起きた時、あわてずに落ち着いて避難できるような場所にどのように行動すればいいか、一度、家族と話し合ってみましょう。

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>



お問い合わせ先: 宮古島地方気象台 TEL: 0980-72-3054 (平日のみ / 8:30~17:15)